

厚生労働省大臣官房統計情報部
担当係：社会統計課社会医療統計第一係
電話：03-5253-1111（内線：7559）
03-3595-2918（ダイヤル）

平成18年社会医療診療行為別調査結果の概況

目 次

調査の概要	1 頁
結果の概要	
I 診療行為・調剤行為の状況	
〔医科診療〕	
1 診療行為の状況	3
2 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況	5
3 病院と診療所別にみた診療行為の状況	9
4 DPCに係る明細書とDPCに係る明細書以外別にみた診療行為の状況	11
5 傷病分類別にみた1日当たり点数	13
〔歯科診療〕	
6 診療行為の状況	14
7 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況	15
8 傷病分類別にみた1日当たり点数	16
〔院外処方〕	
9 院外処方率	16
〔薬局調剤〕	
10 調剤行為の状況	17
II 薬剤の使用状況	
1 薬剤料の比率	18
2 院内処方（入院外・投薬）及び院外処方（薬局調剤）における薬剤点数	19
3 薬価階級別薬剤点数	20
4 薬剤種類数	21
5 薬効分類別にみた薬剤の使用状況	22
6 後発医薬品の使用状況	23
統計表	24
用語の定義	35

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、政府管掌健康保険(以下「政管健保」という。)、組合管掌健康保険(以下「組合健保」という。)及び国民健康保険(以下「国保」という。)における医療の給付の受給者にかかる診療行為の内容、傷病の状況、調剤行為の内容及び薬剤の使用状況等を明らかにし、医療保険行政に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の範囲

各都道府県の社会保険診療報酬支払基金支部(以下「支払基金支部」という。)及び国民健康保険団体連合会(以下「国保団体連合会」という。)において、審査決定された政管健保、組合健保及び国保の一般医療及び老人医療の医科診療及び歯科診療の診療報酬明細書及び調剤報酬明細書(以下「明細書」という。)を調査の対象とした。

調査の客体は、第一次抽出単位を保険医療機関及び保険薬局とし、第二次抽出単位を明細書とする層化無作為二段抽出法により抽出された明細書とした。

(集計客体数)

	施設数	明細書件数		
		総数	一般医療	老人医療
医科	10 807	389 843	233 527	156 316
病院	1 236	127 725	75 373	52 352
診療所	9 571	262 118	158 154	103 964
歯科	962	29 768	18 077	11 691
調剤	4 285	74 371	39 221	35 150

3 調査の時期

平成18年6月審査分

4 調査の事項

診療報酬明細書 …… 年齢、傷病名、診療実日数、診療行為別点数・回数及び薬剤の使用状況(薬品名・使用量等)等

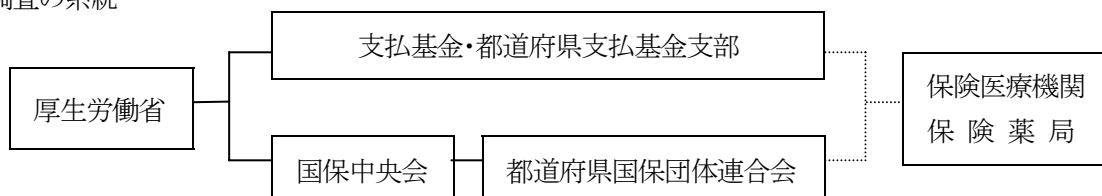
調剤報酬明細書 …… 年齢、処方せん受付回数、調剤行為別点数・回数及び薬剤の使用状況(薬品名・使用量等)等

5 調査の方法及び系統

(1) 調査の方法

支払基金支部及び国保団体連合会が、調査の対象となった保険医療機関及び保険薬局の明細書から別に定める抽出率により抽出を行い、その写しを厚生労働省大臣官房統計情報部に提出する方法により行った。

(2) 調査の系統



6 結果の集計

集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

7 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—	数値が表章単位に満たない場合	0.0
統計項目のありえない場合	•	負数の場合	△

(2) 掲載の数値は四捨五入のため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。

(3) この概況に掲載の数値は、政管健保、組合健保及び国保における平成 18年6月審査分の全国推計数である。

(4) 診療行為分類「診断群分類による包括評価等」には、包括評価(DPC)の所定点数に、特定入院料に関する加算を含む。

結果の概要

I 診療行為・調剤行為の状況

〔医科診療〕

1 診療行為の状況

(1) 入院における1件当たり点数は 37,029.6 点で、前年に比べ 553.6 点、1.5%減少している。

1日当たり点数は 2,305.0 点で、前年に比べ 52.9 点、2.3%増加している。診療行為別にみると、「入院料等」1,284.7 点(構成割合 55.7%)が最も高く、次いで「手術」289.7 点(12.6%)、「診断群分類による包括評価等」174.3 点(7.6%)の順となっている。

1件当たり日数は 16.07 日で、前年に比べ 0.62 日減少している。(表 1、図 1)

表 1 診療行為別にみた入院の1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

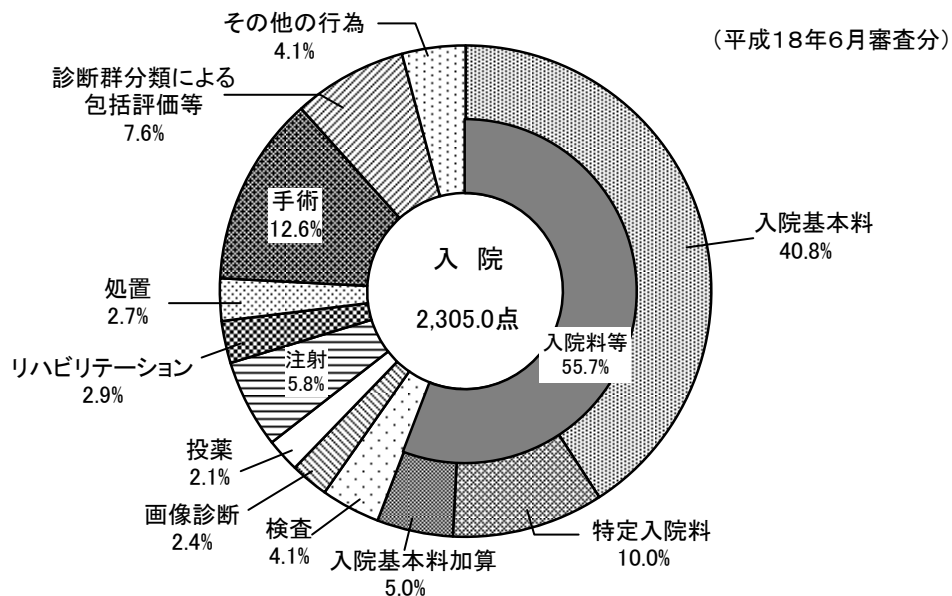
(各年6月審査分)

診療行為	1件当たり点数				1日当たり点数			
	平成18年	平成17年	対前年		平成18年	平成17年	対前年	
			増減点数	増減率(%)			増減点数	増減率(%)
総数	37 029.6	37 583.2	△ 553.6	△ 1.5	2 305.0	2 252.1	52.9	2.3
初診	42.2	48.9	△ 6.7	△ 13.7	2.6	2.9	△ 0.3	△ 10.3
再診	300.0	329.3	△ 29.3	△ 8.9	18.7	19.7	△ 1.1	△ 5.4
医学管理	59.5	60.0	△ 0.4	△ 0.7	3.7	3.6	0.1	3.1
在宅医療	1 511.0	1 776.8	△ 265.8	△ 15.0	94.1	106.5	△ 12.4	△ 11.7
検査	894.3	1 034.8	△ 140.5	△ 13.6	55.7	62.0	△ 6.3	△ 10.2
画像診断	789.2	829.7	△ 40.5	△ 4.9	49.1	49.7	△ 0.6	△ 1.2
投薬	2 157.6	2 624.1	△ 466.5	△ 17.8	134.3	157.2	△ 22.9	△ 14.6
注射	1 084.2	894.8	189.4	21.2	67.5	53.6	13.9	25.9
リハビリテーション	188.5	166.0	22.5	13.5	11.7	9.9	1.8	17.9
精神科専門療法	995.0	1 108.5	△ 113.5	△ 10.2	61.9	66.4	△ 4.5	△ 6.8
処置	4 654.6	4 248.9	405.7	9.5	289.7	254.6	35.1	13.8
手術	783.8	711.8	72.0	10.1	48.8	42.7	6.1	14.4
麻酔	131.5	165.6	△ 34.0	△ 20.6	8.2	9.9	△ 1.7	△ 17.5
放射線治療	20 638.6	21 319.2	△ 680.5	△ 3.2	1 284.7	1 277.5	7.2	0.6
入院料等	2 799.5	2 264.7	534.9	23.6	174.3	135.7	38.6	28.4
診断群分類による包括評価等	(1件当たり日数)	(16.07)	(16.69)					
入院時食事療養(単位:円)	27 641	33 600	△ 5 959	△ 17.7	1 721	2 013	△ 293	△ 14.5

注: 1) 「総数」には「入院時食事療養」を含まない。

2) 「診断群分類による包括評価等」の対象は、平成18年218施設、平成17年144施設である。

図 1 診療行為別にみた入院の1日当たり点数の構成割合



注: 「その他の行為」は、「初・再診」「医学管理等」「在宅医療」「精神科専門療法」「麻酔」及び「放射線治療」である。

(2) 入院外における1件当たり点数は1,235.8点で、前年に比べ22.6点、1.8%減少している。

1日当たり点数は665.7点で、前年に比べ13.1点、1.9%減少している。診療行為別にみると、「投薬」150.9点(構成割合22.7%)が最も高く、次いで「初・再診」124.3点(18.7%)、「検査」105.0点(15.8%)の順となっている。

1件当たり日数は1.86日で、前年に比べ0.003日増加している。(表2、図2)

表2 診療行為別にみた入院外の1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

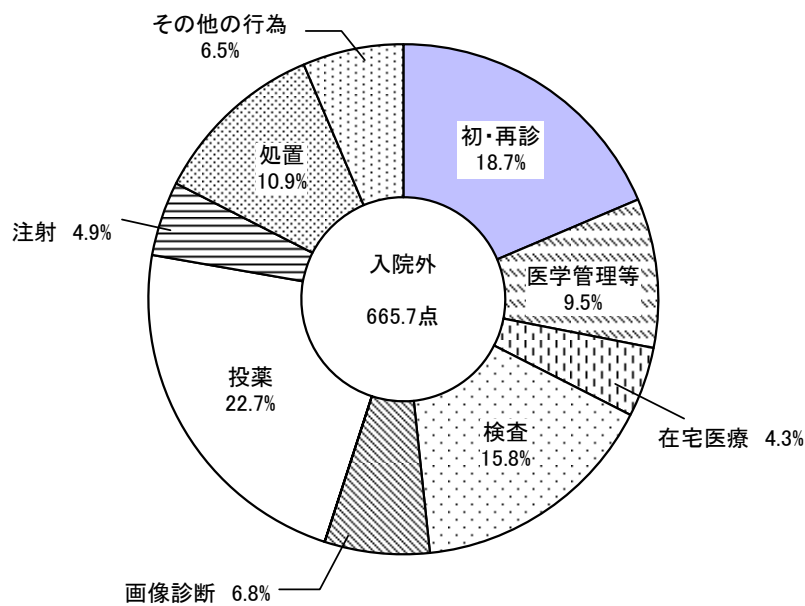
(各年6月審査分)

診療行為	1件当たり点数				1日当たり点数			
	平成18年	平成17年	対前年		平成18年	平成17年	対前年	
			増減点数	増減率(%)			増減点数	増減率(%)
総数	1 235.8	1 258.4	△ 22.6	△ 1.8	665.7	678.9	△ 13.1	△ 1.9
初・再診	230.7	239.3	△ 8.7	△ 3.6	124.3	129.1	△ 4.9	△ 3.8
医学管理等	117.2	118.7	△ 1.5	△ 1.3	63.1	64.0	△ 0.9	△ 1.4
在宅医療	53.3	53.1	0.2	0.4	28.7	28.6	0.1	0.2
検査	195.0	200.2	△ 5.3	△ 2.6	105.0	108.0	△ 3.0	△ 2.8
画像診断	83.9	84.0	△ 0.1	△ 0.1	45.2	45.3	△ 0.1	△ 0.3
投薬	280.1	286.1	△ 6.0	△ 2.1	150.9	154.4	△ 3.5	△ 2.2
注射	60.0	68.1	△ 8.1	△ 11.9	32.3	36.8	△ 4.4	△ 12.1
リハビリテーション	13.0	11.8	1.2	10.5	7.0	6.4	0.7	10.4
精神科専門療法	30.0	26.0	4.0	15.5	16.2	14.0	2.1	15.3
処置	135.3	137.4	△ 2.1	△ 1.5	72.9	74.1	△ 1.2	△ 1.6
手術	27.4	26.5	0.9	3.2	14.7	14.3	0.4	3.1
麻酔	5.3	4.1	1.2	28.9	2.8	2.2	0.6	28.7
放射線治療	4.7	3.0	1.7	56.3	2.5	1.6	0.9	56.1
(1件当たり日数)	(1.86)	(1.85)						

注:「総数」には「入院料等(短期滞在手術基本料1)」を含む。

図2 診療行為別にみた入院外の1日当たり点数の構成割合

(平成18年6月審査分)



注:「その他の行為」は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」「放射線治療」及び「入院料等」である。

2 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況

(1) 入院における1件当たり点数は、一般医療 34,322.3 点、老人医療 40,310.4 点となっている。

1日当たり点数は、一般医療 2,515.5 点、老人医療 2,121.7 点で、年齢階級別にみると、「0～14 歳」3,628.3 点が最も高く、次いで「65～74 歳」2,561.3 点となっており、「75 歳以上」2,094.5 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、老人医療は、一般医療と比べ「入院料等」「処置」の割合が高く、「診断群分類による包括評価等」「手術」の割合は低くなっている。

1件当たり日数は、一般医療 13.64 日、老人医療 19.00 日となっている。(表3、図3、図4)

表3 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた入院の診療行為別
1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

(平成18年6月審査分)

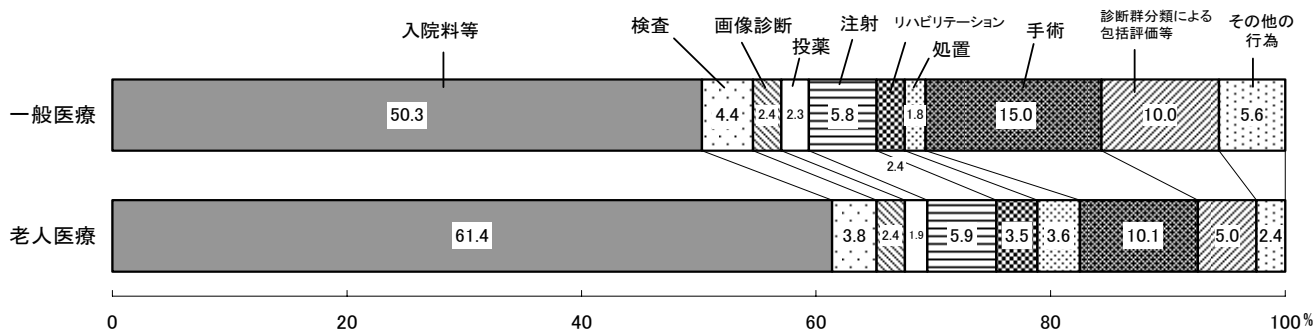
診療行為	一般医療	老人医療	年齢階級				
			0～14歳	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上
1 件 当 た り 点 数							
総数	34 322.3	40 310.4	23 721.0	25 119.9	37 002.9	42 204.2	39 741.5
初診	49.8	33.0	105.5	63.3	41.1	29.3	34.5
再診	332.0	261.2	131.8	310.6	355.9	356.2	256.9
理学療法	60.2	58.8	18.6	60.1	73.1	70.6	51.0
在宅医療	1 494.2	1 531.5	851.9	1 113.9	1 589.2	1 820.6	1 512.4
検査	830.5	971.5	256.5	487.7	877.0	1 149.4	982.9
画像診断	805.1	770.0	221.8	538.6	1 024.3	880.2	749.3
投薬	1 975.5	2 378.3	1 253.2	1 274.8	2 085.4	2 590.5	2 366.4
注射	821.1	1 402.9	264.7	220.8	932.8	1 373.6	1 398.4
リハビリテーション	262.5	98.7	12.9	244.6	367.6	196.9	79.8
精神科専門療法	610.9	1 460.4	442.2	334.0	749.1	1 212.0	1 308.7
処置	5 149.7	4 054.5	1 531.4	3 656.3	5 282.4	6 772.2	3 903.6
手術	1 035.3	479.0	1 017.6	938.2	1 018.8	971.4	461.8
麻酔	193.3	56.6	31.1	36.7	270.9	192.2	55.0
放射線治療	17 257.0	24 736.6	14 165.7	13 161.3	18 713.2	20 892.2	24 810.9
入院料等	3 445.0	2 017.4	3 415.9	2 677.8	3 622.2	3 697.2	1 769.8
診断群分類による包括評価等							
1 日 当 た り 点 数							
総数	2 515.5	2 121.7	3 628.3	2 407.9	2 333.7	2 561.3	2 094.5
初診	3.7	1.7	16.1	6.1	2.6	1.8	1.8
再診	24.3	13.7	20.2	29.8	22.4	21.6	13.5
理学療法	4.4	3.1	2.8	5.8	4.6	4.3	2.7
在宅医療	109.5	80.6	130.3	106.8	100.2	110.5	79.7
検査	60.9	51.1	39.2	46.7	55.3	69.8	51.8
画像診断	59.0	40.5	33.9	51.6	64.6	53.4	39.5
投薬	144.8	125.2	191.7	122.2	131.5	157.2	124.7
注射	60.2	73.8	40.5	21.2	58.8	83.4	73.7
リハビリテーション	19.2	5.2	2.0	23.4	23.2	11.9	4.2
精神科専門療法	44.8	76.9	67.6	32.0	47.2	73.6	69.0
処置	377.4	213.4	234.2	350.5	333.1	411.0	205.7
手術	75.9	25.2	155.7	89.9	64.3	59.0	24.3
麻酔	14.2	3.0	4.8	3.5	17.1	11.7	2.9
放射線治療	1 264.8	1 302.0	2 166.7	1 261.6	1 180.2	1 267.9	1 307.6
入院料等	252.5	106.2	522.5	256.7	228.4	224.4	93.3
診断群分類による包括評価等							
1 件 当 た り 日 数							
	13.64	19.00	6.54	10.43	15.86	16.48	18.97
入院時食事療養(単位:円)							
1件当たり金額	23 103	33 139	8 339	16 646	27 729	28 711	32 966
1日当たり金額	1 693	1 744	1 276	1 596	1 749	1 742	1 737

注: 1) 「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

2) 「総数」には「入院時食事療養」を含まない。

図3 一般医療・老人医療別にみた入院の診療行為別1日当たり点数の構成割合

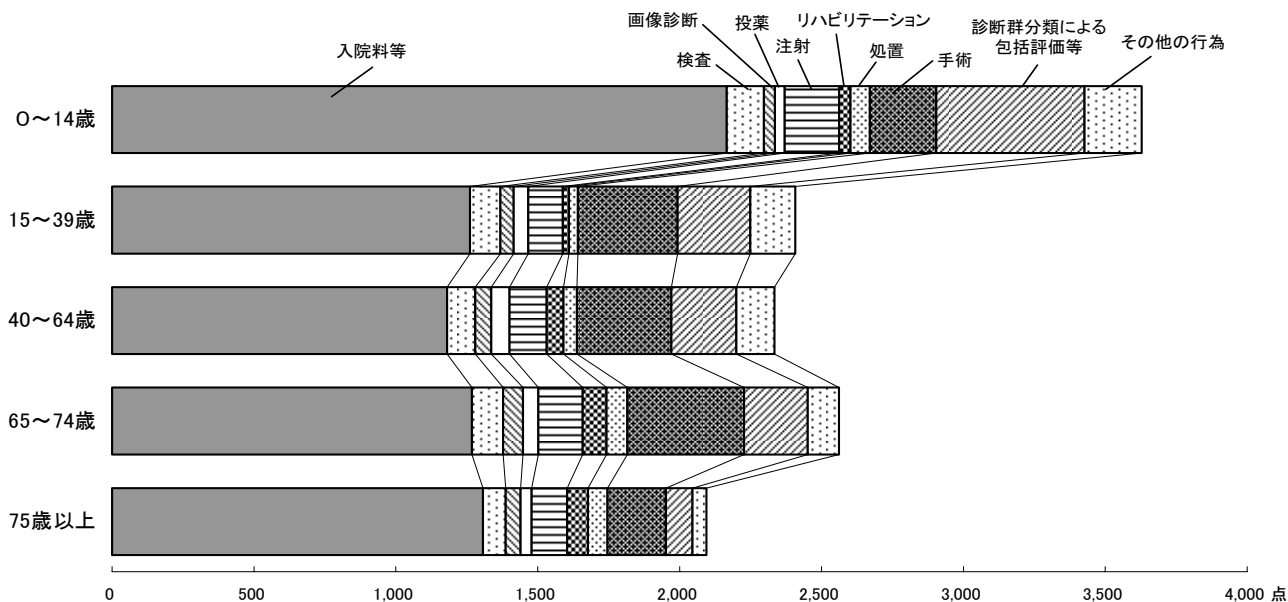
(平成18年6月審査分)



注:「その他の行為」は、「初・再診」「医学管理等」「在宅医療」「精神科専門療法」「麻酔」及び「放射線治療」である。

図4 年齢階級別にみた入院の診療行為別1日当たり点数

(平成18年6月審査分)



注:「その他の行為」は、「初・再診」「医学管理等」「在宅医療」「精神科専門療法」「麻酔」及び「放射線治療」である。

(2) 入院外における1件当たり点数は、一般医療 1,106.7 点、老人医療 1,632.9 点となっている。

1日当たり点数は、一般医療 641.3 点、老人医療 723.0 点で、年齢階級別にみると、「40～64 歳」745.4 点が最も高く、次いで「65～74 歳」691.0 点となっており、「0～14 歳」481.4 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、老人医療は、一般医療と比べ「処置」「在宅医療」の割合が高く、「初・再診」「検査」の割合は低くなっている。

1件当たり日数は、一般医療 1.73 日、老人医療 2.26 日となっている。(表4、図5、図6)

表4 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた入院外の診療行為別
1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

(平成18年6月審査分)

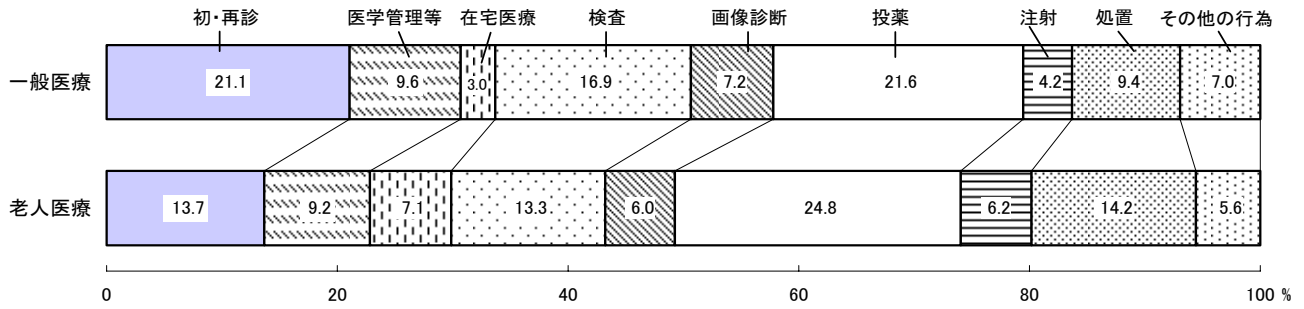
診療行為	一般医療	老人医療	年齢階級				
			0～14歳	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上
1 件 当 た り 点 数							
総数	1 106.7	1 632.9	799.3	896.9	1 303.0	1 425.0	1 530.6
初・再診	233.2	223.0	300.2	237.2	211.0	215.1	221.7
医学管理	106.6	149.8	156.0	30.9	112.3	141.7	146.5
在宅医療	33.1	115.2	25.7	30.1	38.9	49.7	114.5
検査	187.5	217.8	94.2	186.9	214.0	222.9	214.6
画像診断	79.3	98.3	29.3	63.8	100.2	102.8	96.0
投薬	239.6	404.7	115.7	169.8	284.3	352.2	405.0
注射	46.8	100.5	5.0	25.1	64.4	81.2	98.9
リハビリテーション	11.1	18.8	10.6	6.2	12.0	17.9	17.0
精神科専門療法	33.8	18.2	4.6	69.0	36.9	17.3	17.2
処置	103.7	232.5	39.2	60.7	193.2	171.9	145.2
手術	24.5	36.3	18.4	13.7	25.4	37.9	37.0
麻酔	3.7	10.1	0.4	2.3	3.7	8.4	10.1
放射線治療	3.8	7.5	-	1.3	6.8	5.9	6.7
1 日 当 た り 点 数							
総数	641.3	723.0	481.4	595.0	745.4	691.0	687.4
初・再診	135.1	98.7	180.8	157.4	120.7	104.3	99.5
医学管理	61.8	66.3	93.9	20.5	64.2	68.7	65.8
在宅医療	19.2	51.0	15.5	20.0	22.3	24.1	51.4
検査	108.7	96.5	56.7	124.0	122.4	108.1	96.4
画像診断	45.9	43.5	17.6	42.3	57.3	49.8	43.1
投薬	138.8	179.2	69.7	112.6	162.6	170.8	181.9
注射	27.1	44.5	3.0	16.6	36.8	39.4	44.4
リハビリテーション	6.4	8.3	6.4	4.1	6.9	8.7	7.6
精神科専門療法	19.6	8.1	2.8	45.8	21.1	8.4	7.7
処置	60.1	103.0	23.6	40.2	110.5	83.4	65.2
手術	14.2	16.1	11.1	9.1	14.5	18.4	16.6
麻酔	2.1	4.5	0.3	1.5	2.1	4.1	4.5
放射線治療	2.2	3.3	-	0.9	3.9	2.9	3.0
1 件 当 た り 日 数							
	1.73	2.26	1.66	1.51	1.75	2.06	2.23

注: 1)「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

2)「総数」には「入院料等(短期滞在手術基本料1)」を含む。

図5 一般医療・老人医療別にみた入院外の診療行為別1日当たり点数の構成割合

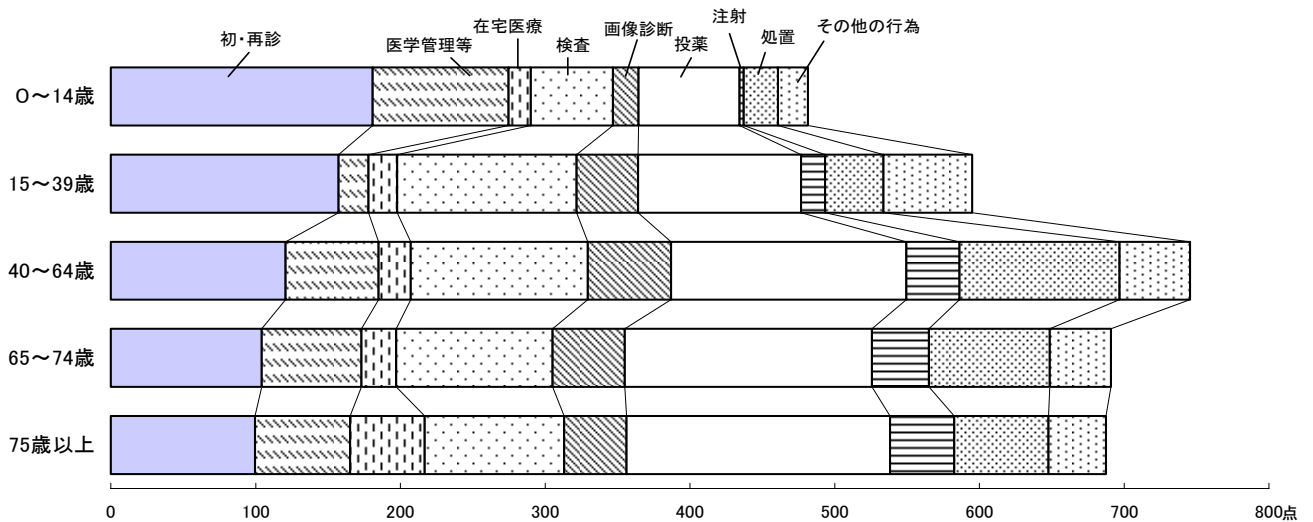
(平成18年6月審査分)



注:「その他の行為」は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」「放射線治療」及び「入院料等」である。

図6 年齢階級別にみた入院外の診療行為別1日当たり点数

(平成18年6月審査分)



注:「その他の行為」は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」「放射線治療」及び「入院料等」である。

3 病院と診療所別にみた診療行為の状況

(1) 入院における1件当たり点数は、病院 38,458.8 点、診療所(有床) 16,244.9 点となっている。

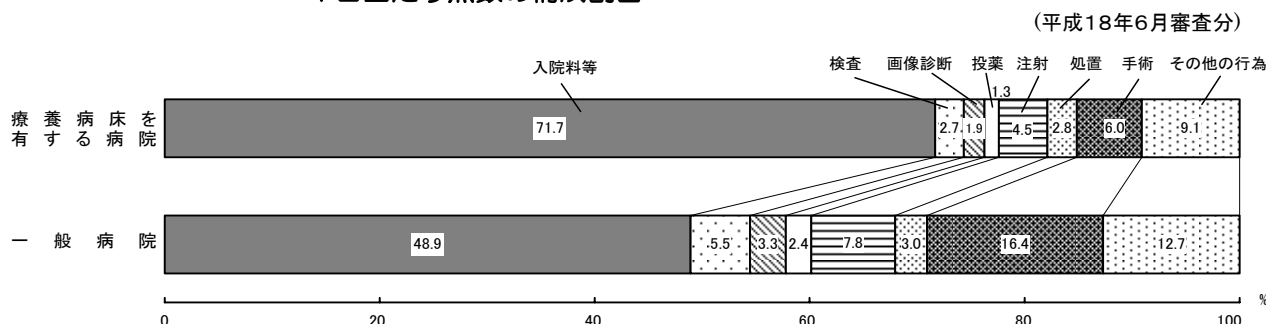
1日当たり点数は、病院 2,353.8 点、診療所(有床) 1,344.6 点で、病院について種類別にみると、「特定機能病院」4,271.7 点が最も高く、次いで「一般病院」3,087.3 点となっており、「精神科病院」1,100.9 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、「療養病床を有する病院」は、「一般病院」と比べ「入院料等」の割合が高くなっており、1件当たり日数は、それぞれ 20.16 日、12.34 日となっている。(表5、図7)

表5 病院・診療所(有床)別にみた入院の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

診療行為	病 院					診療所 (有床)
	総 数	精神科病院	特 定 機 能 病 院	療養病床を 有する病院	一般病院	
	(平成18年6月審査分)					
	1 件 当 た り 点 数					
総 数	38 458.8	31 536.3	52 339.7	38 686.0	38 089.7	16 244.9
初・再診	43.3	4.3	37.8	36.6	54.9	27.0
医学管理	312.1	137.2	307.0	298.4	352.7	123.4
在宅医療	61.7	0.6	108.2	32.7	84.4	27.9
検査	1 544.1	374.6	1 024.3	1 034.4	2 107.0	1 029.9
画像診断	932.7	51.6	396.0	740.0	1 263.7	334.6
投薬	806.5	1 245.5	660.3	516.9	906.5	537.9
注射	2 218.2	201.2	1 168.8	1 746.8	2 973.4	1 276.5
リハビリテーション	1 141.8	5.9	389.5	2 258.7	797.3	245.8
精神科専門療法	200.7	1 502.8	42.2	87.8	42.2	10.3
処置	983.4	221.0	519.4	1 066.2	1 127.6	1 163.6
手術	4 736.9	2.2	11 483.5	2 337.6	6 240.0	3 456.3
麻酔	811.5	0.1	1 996.0	435.2	1 046.1	380.4
放射線治療	140.0	-	596.4	57.7	162.9	8.3
入院料等	21 533.6	27 788.6	5 223.1	27 725.4	18 634.8	7 623.5
診断群分類による包括評価等	2 992.0	-	28 387.1	311.4	2 296.2	-
	1 日 当 た り 点 数					
総 数	2 353.8	1 100.9	4 271.7	1 918.7	3 087.3	1 344.6
初・再診	2.6	0.1	3.1	1.8	4.4	2.2
医学管理	19.1	4.8	25.1	14.8	28.6	10.2
在宅医療	3.8	0.0	8.8	1.6	6.8	2.3
検査	94.5	13.1	83.6	51.3	170.8	85.2
画像診断	57.1	1.8	32.3	36.7	102.4	27.7
投薬	49.4	43.5	53.9	25.6	73.5	44.5
注射	135.8	7.0	95.4	86.6	241.0	105.7
リハビリテーション	69.9	0.2	31.8	112.0	64.6	20.3
精神科専門療法	12.3	52.5	3.4	4.4	3.4	0.8
処置	60.2	7.7	42.4	52.9	91.4	96.3
手術	289.9	0.1	937.2	115.9	505.8	286.1
麻酔	49.7	0.0	162.9	21.6	84.8	31.5
放射線治療	8.6	-	48.7	2.9	13.2	0.7
入院料等	1 317.9	970.0	426.3	1 375.1	1 510.4	631.0
診断群分類による包括評価等	183.1	-	2 316.8	15.4	186.1	-
	1 件 当 た り 日 数					
	16.34	28.65	12.25	20.16	12.34	12.08
入院時食事療養(単位:円)						
1件当たり金額	28 319	54 768	19 324	36 190	19 940	17 773
1日当たり金額	1 733	1 912	1 577	1 795	1 616	1 471

注: 「総数」には「入院時食事療養」を含まない。

図7 療養病床を有する病院・一般病院別にみた入院の診療行為別1日当たり点数の構成割合



注: 「その他の行為」は、「初・再診」「医学管理等」「在宅医療」「リハビリテーション」「精神科専門療法」「麻酔」「放射線治療」及び「診断群分類による包括評価等」である。

(2) 入院外における1件当たり点数は、病院 1,482.1 点、診療所 1,115.1 点となっている。

1日当たり点数は、病院 924.2 点、診療所 563.1 点で、病院について種類別にみると、「特定機能病院」1,162.2 点が最も高く、次いで「一般病院」976.7 点となっており、「精神科病院」779.7 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、診療所は、病院と比べ「初・再診」「医学管理等」の割合が高く、「画像診断」「検査」の割合は低くなっている。

1件当たり日数は、病院 1.60 日、診療所 1.98 日となっている。(表6、図8)

表6 病院・診療所別にみた入院外の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

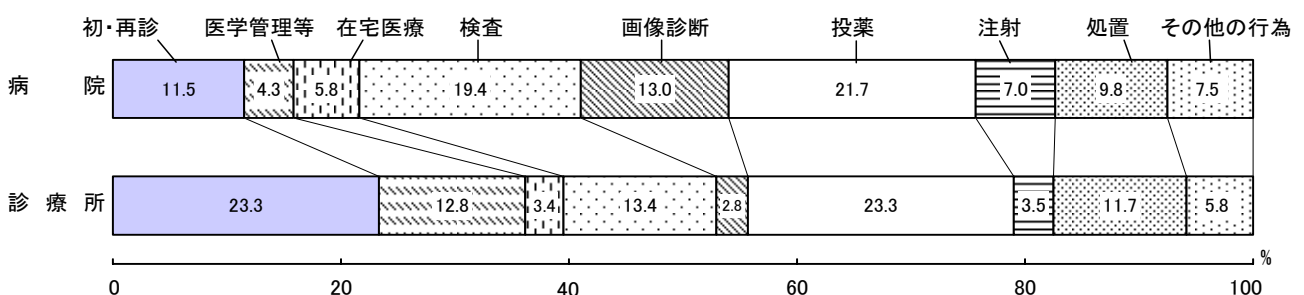
(平成18年6月審査分)

診療行為	病 院					診療所
	総 数	精神科病院	特 定 機 能 病 院	療 養 病 床 を 有 す る 病 院	一般病院	
	1 件 当 た り 点 数					
総 数	1 482.1	1 575.7	1 548.9	1 512.9	1 457.2	1 115.1
初 ・ 再 診	170.6	149.0	116.5	202.6	163.0	260.1
医 学 管 理 等	64.3	31.1	40.4	74.9	63.5	143.1
在 宅 医 療	85.7	6.8	138.7	75.9	87.5	37.4
検 査	287.6	57.0	404.6	230.7	309.7	149.5
画 像 診 断	192.2	10.8	247.5	162.5	206.7	30.9
投 薬	321.1	551.7	304.1	361.4	295.7	260.0
注 射	103.4	10.3	176.4	85.9	107.0	38.7
リハビリテーション	20.9	0.6	3.7	44.1	13.2	9.1
精 神 科 専 門 療 法	36.9	757.9	24.3	26.8	13.7	26.7
処 置	145.7	0.5	10.1	203.8	140.3	130.2
手 術	34.3	0.0	43.5	31.8	35.8	24.0
麻 醉	5.3	0.1	5.2	6.1	5.2	5.2
放 射 線 治 療	14.0	-	33.8	6.4	15.8	0.2
	1 日 当 た り 点 数					
総 数	924.2	779.7	1 162.2	804.2	976.7	563.1
初 ・ 再 診	106.4	73.7	87.4	107.7	109.3	131.3
医 学 管 理 等	40.1	15.4	30.3	39.8	42.6	72.3
在 宅 医 療	53.4	3.3	104.1	40.3	58.6	18.9
検 査	179.4	28.2	303.6	122.6	207.6	75.5
画 像 診 断	119.8	5.4	185.7	86.4	138.6	15.6
投 薬	200.3	273.0	228.2	192.1	198.2	131.3
注 射	64.5	5.1	132.3	45.7	71.7	19.5
リハビリテーション	13.0	0.3	2.8	23.4	8.8	4.6
精 神 科 専 門 療 法	23.0	375.0	18.2	14.3	9.2	13.5
処 置	90.9	0.2	7.6	108.4	94.0	65.7
手 術	21.4	0.0	32.6	16.9	24.0	12.1
麻 醉	3.3	0.0	3.9	3.3	3.5	2.6
放 射 線 治 療	8.7	-	25.4	3.4	10.6	0.1
	1 件 当 た り 日 数					
	1.60	2.02	1.33	1.88	1.49	1.98

注:「総数」には「入院料等(短期滞在手術基本料1)」を含む。

図8 病院・診療所別にみた入院外の診療行為別1日当たり点数の構成割合

(平成18年6月審査分)



注:「その他の行為」は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」「放射線治療」及び「入院料等」である。

4 DPCに係る明細書とDPCに係る明細書以外別にみた診療行為の状況

入院における1件当たり点数をDPCに係る明細書とDPCに係る明細書以外に分けてみると、DPCに係る明細書 49,582.1 点、DPCに係る明細書以外 35,802.4 点となっている。

1日当たり点数は、DPCに係る明細書 4,648.6 点、DPCに係る明細書以外 2,157.7 点となっている。

1件当たり日数は、DPCに係る明細書 10.67 日、DPCに係る明細書以外 16.59 日となっている。(表7)

表7 DPCに係る明細書 - DPCに係る明細書以外別にみた入院の診療行為別
1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

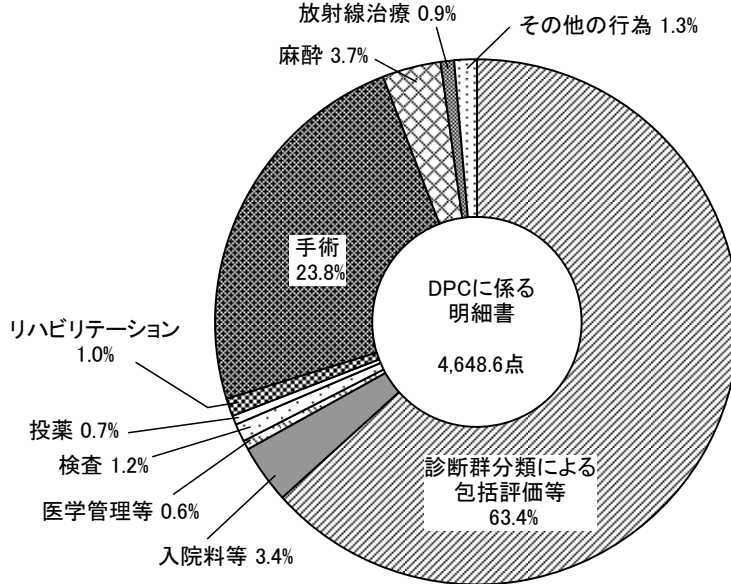
(各年6月審査分)

診療行為	平成18年		平成17年		増減点数		増減率(%)	
	DPCに係る明細書	DPCに係る明細書以外	DPCに係る明細書	DPCに係る明細書以外	DPCに係る明細書	DPCに係る明細書以外	DPCに係る明細書	DPCに係る明細書以外
	1 件 当 たり 点 数							
総数	49 582.1	35 802.4	50 615.5	36 673.2	△ 1 033.4	△ 870.8	△ 2.0	△ 2.4
初・再診	54.4	41.0	64.8	47.8	△ 10.4	△ 6.8	△ 16.0	△ 14.2
医学管理等	314.2	298.6	361.7	327.1	△ 47.5	△ 28.5	△ 13.1	△ 8.7
在宅医療	108.8	54.7	71.6	59.1	37.2	△ 4.4	51.9	△ 7.5
検査	575.7	1 602.5	537.4	1 863.4	38.2	△ 260.9	7.1	△ 14.0
画像診断	95.2	972.4	65.8	1 102.4	29.4	△ 130.1	44.6	△ 11.8
投薬	328.0	834.3	323.1	865.1	4.8	△ 30.7	1.5	△ 3.6
注射	183.1	2 350.7	79.2	2 801.8	103.9	△ 451.2	131.1	△ 16.1
リハビリテーション	471.5	1 144.1	418.0	928.1	53.5	216.0	12.8	23.3
精神科専門療法	6.4	206.3	7.5	177.1	△ 1.2	29.2	△ 15.3	16.5
処置	213.0	1 071.4	224.6	1 170.2	△ 11.6	△ 98.7	△ 5.2	△ 8.4
手術	11 814.6	3 954.5	10 006.5	3 846.9	1 808.2	107.7	18.1	2.8
麻酔	1 840.4	680.5	1 634.0	647.4	206.4	33.1	12.6	5.1
放射線治療	435.4	101.8	486.7	143.1	△ 51.3	△ 41.3	△ 10.5	△ 28.9
入院料等	1 707.1	22 489.5	1 635.9	22 693.5	71.1	△ 204.0	4.3	△ 0.9
診断群分類による 包括評価等	31 434.3	.	34 698.6	.	△ 3 264.3	.	△ 9.4	.
	1 日 当 たり 点 数							
総数	4 648.6	2 157.7	4 318.8	2 152.8	329.8	4.9	7.6	0.2
初・再診	5.1	2.5	5.5	2.8	△ 0.4	△ 0.3	△ 7.7	△ 11.9
医学管理等	29.5	18.0	30.9	19.2	△ 1.4	△ 1.2	△ 4.5	△ 6.3
在宅医療	10.2	3.3	6.1	3.5	4.1	△ 0.2	66.9	△ 5.0
検査	54.0	96.6	45.9	109.4	8.1	△ 12.8	17.7	△ 11.7
画像診断	8.9	58.6	5.6	64.7	3.3	△ 6.1	58.9	△ 9.4
投薬	30.7	50.3	27.6	50.8	3.2	△ 0.5	11.5	△ 1.0
注射	17.2	141.7	6.8	164.5	10.4	△ 22.8	154.0	△ 13.9
リハビリテーション	44.2	68.9	35.7	54.5	8.5	14.5	23.9	26.6
精神科専門療法	0.6	12.4	0.6	10.4	△ 0.0	2.0	△ 7.0	19.6
処置	20.0	64.6	19.2	68.7	0.8	△ 4.1	4.2	△ 6.0
手術	1 107.7	238.3	853.8	225.8	253.9	12.5	29.7	5.5
麻酔	172.5	41.0	139.4	38.0	33.1	3.0	23.8	7.9
放射線治療	40.8	6.1	41.5	8.4	△ 0.7	△ 2.3	△ 1.7	△ 27.0
入院料等	160.0	1 355.4	139.6	1 332.2	20.5	23.2	14.7	1.7
診断群分類による 包括評価等	2 947.2	.	2 960.7	.	△ 13.5	.	△ 0.5	.
	1 件 当 たり 日 数							
	10.67	16.59	11.72	17.04				

注: DPCに係る明細書とは、医科入院医療機関別包括評価用診療報酬明細書(以下、「DPC明細書」という。)及びDPC明細書に
総括された医科入院用診療報酬明細書である。

図9 診療行為別にみたDPCに係る明細書の1日当たり点数の構成割合

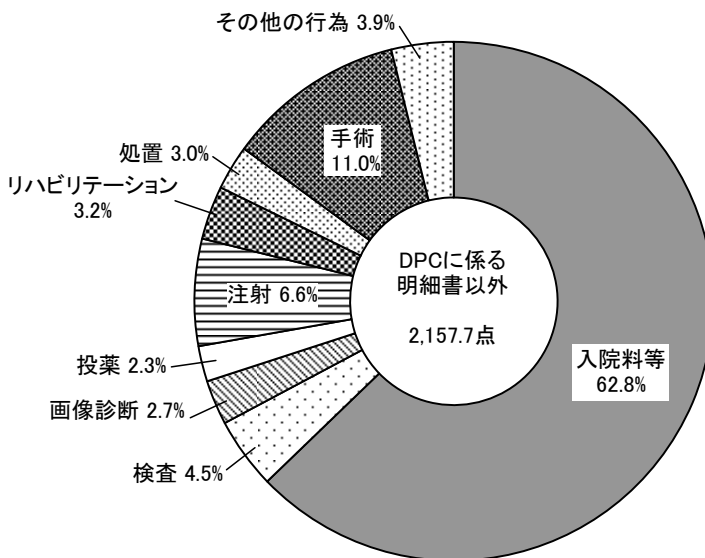
(平成18年6月審査分)



- 注：1) DPCに係る明細書とは、医科入院医療機関別包括評価用診療報酬明細書(以下、「DPC明細書」という。)及びDPC明細書に総括された医科入院用診療報酬明細書である。
 2) 「その他の行為」は、「初・再診」「在宅医療」「画像診断」「注射」「精神科専門療法」及び「処置」である。

図10 診療行為別にみたDPCに係る明細書以外の1日当たり点数の構成割合

(平成18年6月審査分)



- 注：1) DPCに係る明細書とは、医科入院医療機関別包括評価用診療報酬明細書(以下、「DPC明細書」という。)及びDPC明細書に総括された医科入院用診療報酬明細書である。
 2) 「その他の行為」は、「初・再診」「医学管理等」「在宅医療」「精神科専門療法」「麻酔」及び「放射線治療」である。

5 傷病分類別にみた1日当たり点数

入院における傷病分類別1日当たり点数は、一般医療、老人医療とも「Ⅶ 眼及び付属器の疾患」が最も高く、それぞれ4,736.3点、4,637.7点となっている。

入院外における傷病分類別1日当たり点数は、一般医療では「Ⅱ 新生物」、老人医療では「ⅩⅣ 腎尿路生殖器系の疾患」が最も高く、それぞれ1,491.9点、1,936.6点となっている。(表8)

表8 入院 - 入院外・一般医療 - 老人医療別にみた傷病分類別1日当たり点数

(平成18年6月審査分)

傷病分類	入院		入院外	
	一般医療	老人医療	一般医療	老人医療
総数	2 515.5	2 121.7	641.3	723.0
I 感染症及び寄生虫症	2 607.8	2 369.7	574.2	541.5
II 新生物	3 822.6	2 913.3	1 491.9	1 560.9
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	3 452.3	2 654.8	2 098.7	1 602.9
乳房の悪性新生物 (再掲)	3 829.9	4 925.7	2 424.2	1 347.4
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3 249.1	2 504.1	926.0	838.4
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	2 434.6	1 939.0	882.7	803.4
糖尿病 (再掲)	2 302.8	1 916.1	1 031.6	921.3
V 精神及び行動の障害	1 128.8	1 154.1	631.5	605.8
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	1 085.3	1 051.1	748.3	589.4
VI 神経系の疾患	1 935.9	1 585.7	649.0	754.4
VII 眼及び付属器の疾患	4 736.3	4 637.7	561.3	624.0
白内障 (再掲)	5 688.2	5 534.9	670.5	595.6
VIII 耳及び乳様突起の疾患	3 471.1	2 606.9	445.2	383.7
IX 循環器系の疾患	3 598.2	2 199.9	879.1	792.4
高血圧性疾患 (再掲)	2 196.5	1 920.0	895.5	813.1
虚血性心疾患 (再掲)	8 725.3	3 661.4	899.8	828.9
脳梗塞 (再掲)	2 474.9	1 864.0	864.6	711.1
X 呼吸器系の疾患	3 087.3	2 363.7	473.3	806.5
肺炎 (再掲)	2 967.2	2 473.9	765.5	1 115.7
急性気管支炎及び急性細気管支炎 (再掲)	3 146.4	1 691.0	471.7	517.2
喘息 (再掲)	2 770.0	1 810.5	547.0	890.7
X I 消化器系の疾患	3 240.6	2 659.2	679.9	668.2
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	2 659.1	1 956.8	401.0	386.2
皮膚炎及び湿疹 (再掲)	2 593.4	1 896.5	398.5	344.9
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	3 080.2	1 854.3	380.7	356.1
関節症 (再掲)	4 034.6	2 576.2	355.1	369.7
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	3 398.4	2 601.5	1 153.0	1 936.6
腎不全 (再掲)	3 209.5	2 617.6	2 966.9	3 041.3
尿路結石症 (再掲)	4 866.6	3 054.7	1 056.9	1 097.4
X V 妊娠、分娩及び産じょく	2 670.1	-	540.3	-
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	2 632.5	2 172.5	488.4	460.0
骨折 (再掲)	2 635.3	2 261.3	513.2	466.6
その他の傷病	3 471.6	2 287.5	713.8	677.1

注: 1) 傷病分類は、「疾病、傷害及び死因の統計分類」(ICD-10(2003年版))を準用した。

2) 「その他の傷病」は、「周産期に発生した病態」「先天奇形、変形及び染色体異常」及び「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」である。